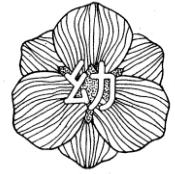




ひがしとみずようちえんだより

～令和7年度 最終号～



令和8年3月17日
小田原市立東富水幼稚園
文責 宮川 晃

すみれさん、ご卒園おめでとうございます！

ひよこさん、ご進級おめでとうございます！

春の暖かい陽射しを待ちわびていたかのように、園庭の桜のつぼみが少しずつ膨らみ始め、幹が桃色に色づいているように見えます。明日は、いよいよ卒園式ですね。

今年度もひよこさんとすみれさんの交流が盛んで、なかよく手をつないで園外散歩に出かけたり、一緒にお弁当を食べたり、追いかけてっこをしたり、「すみれひよこ研究室」で生き物の観察をしたりと、とても楽しく過ごすことができました。

心優しく健やかに育ったすみれさん。みんなでしっかりと手をつなぎ、新しい未来に向かって輝いてほしいと思います。そして、ひよこさんは、すみれさんへのご進級おめでとうございます。これからも明るく楽しく元気いっぱいにご過ごしてほしいと思います。

令和7年度の教育目標

『認め合い育ち合う子どもの育成』

- ★自ら関わることを楽しめる子
- ★粘り強く頑張れる子
- ★自分も友達も大切にできる子

研究主題 『幼児の主体性を育むための教師の資質向上』
サブテーマ ～ 幼児が主役の保育について考える ～



重点課題と指導の方針①

『子どもの発達や特性に応じた教育活動』

- 人・もの・ことなど、身の回りの環境に積極的に関わり経験を重ねる活動内容の実践
- 興味関心をもち、試行錯誤しながら学びに向かう芽を培う環境の工夫
- 遊びを通じた、体力・運動能力の向上
- 様々な環境に触れ、五感を通して心の豊かさを育む環境の工夫
- 地球環境や自然環境を活かし、取り入れた遊びの展開
- 栽培、飼育活動を通じた命の学び
- 基本的な生活習慣、衛生習慣の確立
- 安全教育の推進（防災・防犯・交通安全・感染予防等）



1月後半には寒さが厳しくなり、園庭の芝生が霜で白くなりました。子どもたちは氷ができるのではないかと考え、外の水道場に水を入れたバケツやプリンカップなどを置き、毎朝観察を始めました。氷ができる日とできない日の違いなど、冷たい氷を指でつつきながら、一生懸命考えていました。また、何年かぶりかの大雪が降ると、雪だるまを作ったり、雪合戦をしたり、雪を絵の具で染めて楽しんだり、冬ならではの遊びを通じてたくさんのことを学ぶ機会となりました。



2月3日(火)に節分の豆まきをしました。今年度も「鬼チーム」と「豆まきチーム」の2チームに分かれ、対戦する形式で実施することになりました。鬼や豆をまく人のお面や衣装は、もちろん自分たちの手作りで。ひよこさんとすみれさんの合同チームで作戦を考え、掛け声をかけ合いながら豆まきを楽しみました。対戦が終わった後には、「鬼のパンツ」と「赤鬼と青鬼のタンゴ」をみんなで踊りました。また、大きな青鬼と赤鬼も登場しましたが、子どもたちが力を合わせて退治することができました。子どもたちは、自分たちのやりたい豆まきができ、とても満足そうでした。



3学期も安全教育を推進しました。1月には、防災教室として、子どもたちだけでなく保護者にも加わっていただき、水消火器を使用した消火訓練を行いました。また、2月には、不審者侵入を想定した防犯訓練を実施しました。そして、保護者の方々にもご参加いただき、年長さんを対象とした就学前交通教室を実施しました。地震から火災が起こることを想定した避難訓練も実施しました。

今年度も子どもたちの安全をより確かなものにするため、様々な形で防災・防犯・交通安全等の訓練を実施することができました。ご協力ありがとうございました。

重点課題と指導の方針②

『保護者・地域との連携』

- 幼児の成長をもとに喜び協力し合える信頼関係の構築
- 幼児理解・幼稚園理解と家庭教育の推進
 - ・情報発信、教育相談の充実
 - ・家庭とつながる活動の展開
 - ・楽しみながら参加できるPTA活動の工夫
- 幼児の学びをつなげる小学校との連携
- 保護者支援・子育て支援の充実
- 地域環境・専門機関との連携や活用
- スクールボランティアの活用





2月には、ひよこさんとすみれさん、それぞれの日程で「保育参加」を行いました。ひよこさんは、自分でやりたいことを決め、保護者と一緒に作業したり遊んだりしました。その後、みんなで覚えた「えいごみち」を、保護者と対戦して楽しみました。ルールを守ってみんなで遊ぶ楽しさを味わっていました。すみれさんは、卒園記念製作として「ペン立て」を、子どもと保護者が一緒に話し合いながら、工夫して作りました。とてもかわいらしい立派な作品に仕上がりました。

「保育参加」は、子どもたちにとって、保護者と一緒に遊んだり製作したりすることができる、とても楽しい時間となっています。ご協力ありがとうございました。



今学期も保護者や地域の方々からたくさんのご協力をいただき、子どもたちや園の運営を支えていただきました。1月には「読み聞かせボランティア」による読み聞かせイベントが開催されました。子どもたちはとても楽しそうに、手づくりゲームをしたり、プレゼントをもらったりして大満足の様子でした。また、2月には「エクシア劇場」のみなさんによる人形劇「3匹のヤギのがらがらどん」が上演されました。子どもたちはお話の面白さに引き込まれ、とても楽しそうに見入っていました。ボランティアや地域の方々のご協力が、子どもたちの豊かな心の成長につながっています。



2月、保護者の皆様には図書整理や清掃活動、窓飾り（スタンドカラーシート）作業等をしていただきました。

子どもたちは、毎週月曜日に本を2冊借りることができますが、定期的に整理整頓していただいているおかげで、自分の興味のある本が探しやすく借りやすくなっています。また、先日は本年度2回目の清掃活動の時間がありました。床掃除や窓ふき、ワックスがけも行っていました。きれいになった窓に卒園式用のスタンドカラーシートも貼っていただき、園内が明るく気持ちよい空間になりました。ありがとうございました。

重点課題と指導の方針③

『教職員の資質・能力の向上』

- 一人一人の発達や特性を捉えたきめ細やかな援助
 - ・教育課程、指導計画、アプローチカリキュラム、支援計画等、実態に応じた見直しと立案
- 幼児の思いに寄り添うインクルーシブ教育の推進
- ICTの活用や事務分掌の精査による効率的な仕事の推進
- チーム保育の実践
- 園内研究並びに自己課題に対する研究の推進、自己研鑽による保育スキルの向上



今年度の園内研究は、小田原市公開保育研究会開催園として、6/24と1/27の2日間、小田原市教育委員会教育長をはじめ、小田原市の幼稚園・保育園の先生方にご参加いただきました。テーマは「幼児の主体性を育むための教師の資質向上」、サブテーマは「幼児が主役の保育を考える」です。小田原短期大学の野津直樹教授や小田原市教育委員会指導主事をお招きし、一人一人が輝く支援のあり方についてご指導をいただき、研究を深めました。今後も引き続き、大学教授や指導主事の先生方にお越しいただいて指導を仰ぎ、教職員の資質・能力の向上につなげていきます。

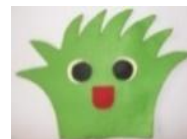


すみれさんが「卒園記念製作」として、畑の看板『おひさまばたけ』を作りました。(写真左) おひさまがたくさん当たり、みんなで育てるジャガイモやタマネギ、ダイコン、ピーマン、トウモロコシ、サツマイモ、ミニトマト、ニンジン等が元気に育ちますようにとの願いを込めました。園舎南側の畑の所に掲示しますので、ご来園の際、ぜひご覧ください。



また、すみれさんから「卒園記念品」として、マグネット式ブロック『マグフォーマー』を贈っていただきました。(写真左) すみれさんにも使ってもらいましたが、子どもたちが夢中で製作活動に取り組める教材です。今後もみんなでなかよく使いたいと思います。皆様、ありがとうございました。

1年間のご愛読 ありがとうございました。



すみれ組のみなさん、ご卒園おめでとうございました。小学校へ入学しても、明るく元気に、友だちとなかよく過ごしてほしいと思います。勉強も頑張ってくださいね。「継続は力なり」です。何かを続けることの大切さも覚えてほしいと思います。ずっとずっと応援しています。

ひよこ組のみなさんは、今度はすみれさんになります。4月に入園してくるひよこさんのこと、よろしくお祈りします。東富水幼稚園のこと、やさしく教えてあげてくださいね。

保護者の皆様、この1年間、幼稚園教育にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。心より感謝申し上げます。(園長 宮川 晃)